

は し が き

国立教育政策研究所では、所の研究成果を教育現場をはじめとして広く普及し、教育指導法の改善や教員の資質向上などに役立てていただくという趣旨により、平成2年より教育研究公開シンポジウムを開催している。

今回の第24回教育研究公開シンポジウムは、「これからの学校におけるカリキュラムのあり方」というテーマにより、福岡県教育センターのご協力を得て開催した。

文部科学省においては、中央教育審議会教育課程部会において教育課程の見直しについて議論が進められており、平成18年2月には審議経過報告を公表したところである。このたびのシンポジウムは、中央教育審議会の審議動向と当研究所における教育課程に関する研究成果を踏まえながら、これからの学校におけるカリキュラムのあり方について議論していただくこととした。

なお、基調講演を、教育課程部会教育課程企画特別部会主査の安彦忠彦早稲田大学教授にお願いした。

当日は、福岡県下の教育関係者を中心に550名もの参加者が集まった。

本報告書は、このシンポジウムにおける基調講演および討論の内容をまとめたものである。学校での指導などに生かしていただければ幸いである。

本シンポジウムの開催にあたっては、福岡県教育センターの皆様をはじめ、多くの関係者のご協力をいただいた。ご協力くださった各位に対し、心から御礼申し上げます。

平成18年3月

国立教育政策研究所長
矢野重典

目次

はしがき

【あいさつ】…………… 7

矢野重典 (国立教育政策研究所長)

黒見義正 (福岡県教育センター所長)

【基調講演】……………13

「学校カリキュラムをどうつくるか——中央教育審議会における審議をふまえて」

安彦忠彦 (早稲田大学教育学部教授・中央教育審議会教育課程企画特別部会主査)

【パネルディスカッション】…………… 35

「これからの学校におけるカリキュラムのあり方

——カリキュラムの改善と学力の向上をめざして」

コーディネーター 鳩貝太郎 (国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部 総括研究官)

シンポジスト 板良敷敏 (文部科学省 初等中等教育局視学官)

工藤文三 (国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長)

宮田忠雄 (福岡県教育センター 教育経営部長)

西見修一 (福岡県うきは市立吉井中学校長)

プログラム

第24回

【教育研究公開シンポジウム】

これからの学校における カリキュラムのあり方